

■ 腹筋の表示について

BooT.oneでは、梁の断面リストを作成する際、梁成が600mm以上の場合に自動的に腹筋が配置されるように設定されています。

符号	B1	B2
位置	全断面	全断面
断面		
上端筋	3 - D19	3 - D19
下端筋	3 - D19	3 - D19
STP	2 - D10 @200	2 - D10 @200
腹筋	2 - D10	2-D10
カットオフ	-	-

梁成が600mm以上の場合
腹筋が自動で配置される

梁成が600mmよりも小さい場合、[B.構造]タブ → [配筋リスト]パネル → [配筋リスト▼] → [梁配筋リスト]ツールをクリックして腹筋を手入力修正しても、リストの文字には記載されますが、断面には表示されません。

梁成が600mmよりも小さい場合に腹筋を表示させたいときは、梁リストファミリーを修正する必要があります。

配筋リスト

タイプ 全断面

位置 全断面

断面

上端筋 3 D19

下端筋 3 D19

STP @ 200

腹筋 手入力 ねじれ補強筋
2 D10

カットオフ 上段 0 下段 0

➔

符号	B1
位置	全断面
断面	
上端筋	3 - D19
下端筋	3 - D19
STP	2 - D10 @200
腹筋	2-D10
カットオフ	-

腹筋の手入力修正

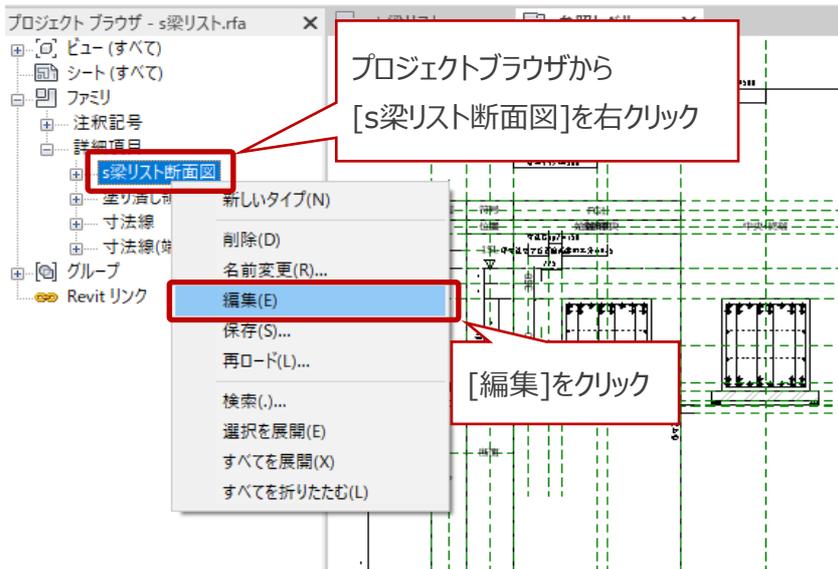
腹筋が表示されない

■ 梁成が600mmより小さい場合に腹筋を表示させる方法

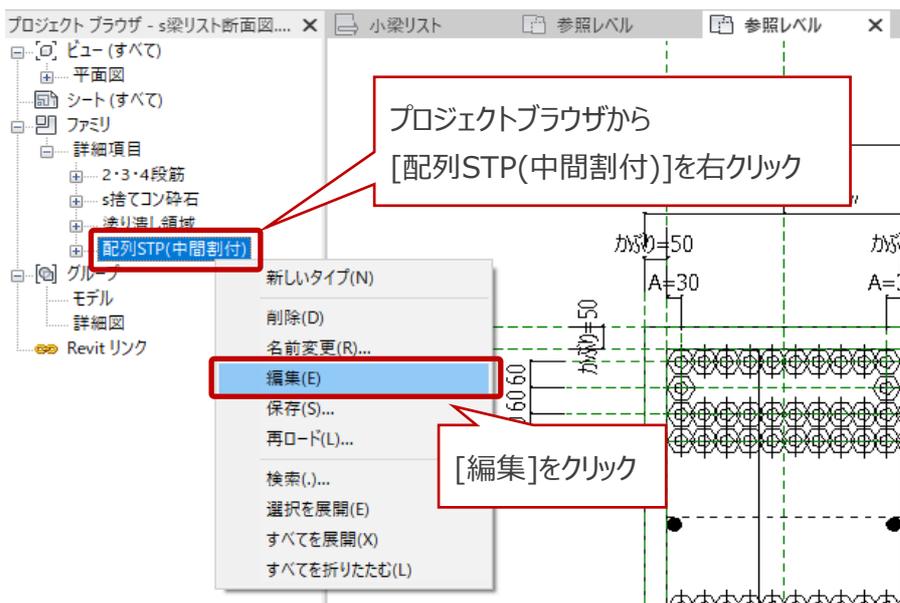
- ① 梁リストファミリーを選択し、[修正]タブ → [モード]パネル → [ファミリーを編集]ツールをクリックし、s梁リスト.rfaファミリーの編集画面を開きます。



- ② s梁リスト.rfaファミリー編集画面で、プロジェクトブラウザから、ファミリー → 詳細項目 → s梁リスト断面図を選択し、右クリックして[編集]を選択します。



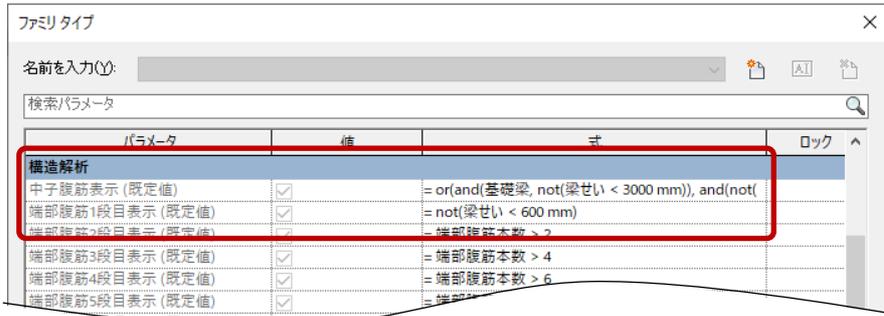
- ③ s梁リスト断面図.rfaファミリー編集画面で、プロジェクトブラウザから、ファミリー → 詳細項目 → 配列STP(中間割付)を選択し、右クリックして[編集]を選択します。



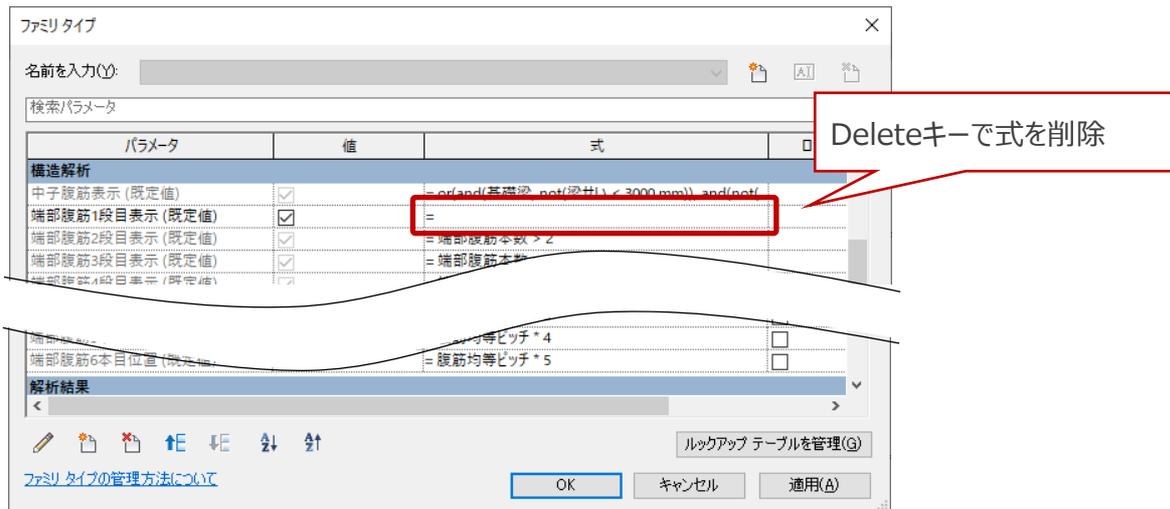
- ④ 配列STP(中間割付).rfaファミリ編集画面で、[作成]タブ → [プロパティ]パネル → [ファミリタイプ]ツールをクリックします。



- ⑤ [ファミリタイプ]ダイアログを下にスクロールし、パラメータグループの[構造解析]を表示します。



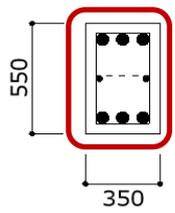
- ⑥ 2行目の「端部腹筋1段目表示」の[式]をすべて削除し、[OK]をクリックします。



- ⑦ 修正したファミリを、以下の順にロードします。
- ・配列STP(中間割付).rfa を s梁リスト断面図.rfa にロード
 - ・s梁リスト断面図.rfa を s梁リスト.rfa にロード
 - ・s梁リスト.rfa を 変更したいプロジェクトにロード



- ⑧ 梁に腹筋が表示されます。また、[B.構造]タブ → [配筋リスト]パネル → [配筋リスト▼] → [梁配筋リスト]ツールにて、腹筋の手入力修正もできるようになります。

符号	B1
位置	全断面
断面	
上端筋	3 - D19
下端筋	3 - D19
STP	2 - D10 @200
腹筋	2-D10
カットオフ	-